



観音寺市議会だより

Kanonji City Council No.8 2016.2.1



ミライエ

観音寺の輝く未来へ

市議会の動きをわかりやすくお伝えします



議長 副議長を選出

一般会計補正予算案を可決

一般質問から見える市の課題



検索

観音寺市議会

議長に安藤忠明氏
副議長に立石隆男氏を選出

議長

安藤 忠明



副議長

立石 隆男



本年5月に新庁舎が開庁いたしました。さっそうと立つ五階建ての風貌は陽を浴びてフレッシュな息吹をふりまいております。市民会館の建設も棟が上がり、順調に進んでおります。駅から数分という地の利と十分な駐車スペースを有しており、四国の中心にある芸術文化の一大拠点として、また本市の地域振興の基盤施設として広く活用されるように願っております。この大型プロジェクトは、本市にとって半世紀に一度という重要な事業であります。

市議会は市民の思いに寄り添い、その期待に応えるため、常に市政を前進させる事に全力を尽くしてまいりました。多くの市民に納得していただける審議機能の充実を図り、さらに議会の改革と活性化に取り組んでまいります。これからも市民の皆さまのより一層のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

観音寺市議会委員会名簿

平27.12.1

平27.12.1

常任委員会					
総務	委員長	友枝 俊陽	文教民生	委員長	井下 尊義
	副委員長	伊丹 準二		副委員長	豊浦 孝幸
	委員	秋山 忠敏		委員	高橋 照雄
	//	大久保隆敏		//	大賀 正三
	//	安藤 忠明		//	詫間 茂
	//	大矢 一夫		//	藤田 均
建設経済	委員長	安藤 康次	広聴広報	委員長	伊丹 準二
	副委員長	篠原 和代		副委員長	石山 秀和
	委員	篠原 重寿		委員	篠原 重寿
	//	石山 秀和		//	大平 直昭
	//	井上 浩司		//	井下 尊義
	//	立石 隆男		//	五味 伸亮
//	五味 伸亮		//	豊浦 孝幸	

議会運営委員会	
委員長	大賀 正三
副委員長	大久保隆敏
委員	大平 直昭
//	安藤 康次
//	井下 尊義
//	友枝 俊陽
//	藤田 均

委員の任命などに同意

教育委員会委員（議案第93号）
出濱 利章（豊浜町）
任期4年

公平委員会委員（議案第94号）
黒田 哲生（観音寺町）
任期4年

人権擁護委員（議案第95号）
五味 勲（高屋町）
三宅 敬子（琴浪町）
任期3年

改正された主な条例

●農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例（議案第91号）

農業委員会等に関する法律の改正に伴い制定
《内容》

農業委員

現在：選挙及び市長の選任の併用（定数37名）

今後：推薦・公募のうえ、市長が選任議案を作成し、議会の同意を得る（定数19人）

農地利用最適化推進委員

遊休農地の解消や担い手への利用集積を図るため、新たに設置

定数29人（農地100haに1人の割合）

定例会は、1日から17日までの17日間で開かれた。
一般質問は、7日、8日合わせて16人が、個人質問で市政について質した。
当局提出議案は、専決処分承認1件、条例関係6件、人事案件3件、一般会計補正予算、国民健康保険事業・介護保険事業・航路事業特別会計補正予算が提案された。このうち、人事案件は初日に可決され、その他の議案は各常任委員会に付託し、審査した。これらの議案は全て、最終日に原案どおり可決された。
請願第2号は賛成少数により、不採択となった。

360,462千円増額補正の主な内容

●道の駅「とよはま」の設備を改修 451万5千円

建設から15年が経過したトイレなどの改修
内容：洗浄機付きトイレ・おむつ替えシートの設置など



▲整備がすすむ道の駅「とよはま」

●防災機能強化事業 1億1,619万円

建築基準法の改正（平成25年）に伴い、小・中学校体育館などのつり天井を撤去し、安全性を確保。対象施設：高室小・常磐小・柞田小・粟井小体育館。中部中・豊浜中武道場

●大野原小統合記念事業 924万8千円

萩原小学校・紀伊小学校との統合記念として、遊具と記念碑を設置



▲被災した林道五郷財田線

●選挙制度変更に伴うシステム改訂 461万6千円

選挙年齢が18歳以上に変更（改正法の施行日後初めて行われる国政選挙から）
選挙事務に係るコンピュータシステムの改訂費用

●災害復旧事業 1,195万6千円

豪雨（9月9・10日）により被災した粟井町付近の道路を復旧
広域基幹林道五郷財田線 935万7千円（道路陥没）
市道雲辺寺線 259万9千円（法面崩壊）

「所得税法第56条の廃止の意見書の提出を求める請願」賛成少数で不採択

《趣旨》 法第56条は、家族従業者の働き分を必要経費と認めていない。これは、今の時代に沿っておらず、それぞれの人格も認めていないため、廃止を求める。

《議論経過》 賛成討論：全国400余りで議会採択され、世界の主要国も認めている。（2名発言）

反対討論：所得税法第57条に青色申告があり多くの人が取り組んでいる。全体的に考えると人権的な問題ではない。（2名発言）

《結果》賛成5、反対14で不採択



茂 詫問

健康寿命と医療費について

答 弁 医療費抑制の観点からも、予防、早期発見による保健事業の取り組みを進めている

【質問】 日本の医療費は、右肩上がりが続ぎ2014年度は40兆円を超え、社会保障費10兆円を加えると、50兆円になり国家予算96兆円の内半分以上が医療、介護に費やされている。高齢化社会では、医療費の増加は下げがたく65歳未満の一人当たりの医療費は17万7、100円だが65歳以上になると71万7、200円と4倍に跳ね上がる。

本市において、予防医学、介護予防にさまざまな手立てを尽くしていると思うが、40歳から74歳をターゲットにした予防策を具体的にどのように行っているのか伺う。

【答弁】 医療費抑制の観点からも、予防、早期発見による保健事業の取り組みを進めている。内容としては、特定健康診査と特定保健指導の推進、重点疾病対策として、糖尿病の重症化予防、慢性腎臓病の重症化予防事業にも取り組み、個別指導を行っている。

その他、運動や食事を中心とした健康教室や健康相談事業も定期的にも実施し、参加者自らが生活習慣を見直し、積極的に健康づくりに取り組めるようにしている。



昭 直平大

職員力・組織力の向上

答 弁 人材育成や組織力の強化に努めていく

【質問】 市民の市役所に対するニーズは複雑化、多様化してきており、地方創生においては、自治体間の競争が考えられる。それらに対応していくためには、市役所の職員力・組織力向上が不可欠である。その取り組みは。

【答弁】 職員研修、勤務評価制度、業務改善提案、課内での業務ミーティング奨励など、さまざまな取り組みを実施してきた。人材育成や組織力の強化に、これで十分というものはない。今後も鋭意取り組んでいく。

婚活事業のさらなる推進を

答 弁 結婚を応援する環境づくりを進める

【質問】 商工会などによる婚活イベントへの支援に加え、国の交付金を活用した講演会やセミナーの開催、また各種団体や事業者を巻き込んだの出会いの場づくりなど、婚活事業のさらなる推進を提案するがいかがか。

【答弁】 来年度からは男女登録制を導入し、年間を通じて持続的な出会いの場を提供する事業を市内の団体と計画している。国の交付金なども活用し、結婚応援講演会やセミナーの開催についても検討する。また、四国中央市、三好市と連携した婚活事業も推進する予定である。



敏 隆保大久

本市の農業は圃場整備が力ギ

答 弁 100%達成を目指す

【質問】 TPPが大筋合意された。農業従事者の高齢化・後継者不足・遊休地の増加などこのままでは本市農業が崩壊し、かけがえのないふるさとの景観が損われる恐れがある。これらを解決するため、不整形で狭い農地を圃場整備し、離農する人は担い手農家に農地を貸す。幸い農業法人が年々増加している。今後10年間で、圃場整備率を現在の51・6%を85%に引き上げてどうか。

【答弁】 本市農業を考える上において、中心となる農業者の農業経営を効率的かつ安定的なものとするためには、農地の有効利用や農作業の効率化が必要であり、この推進のためには、農地の利用集積が課題である。圃場整備を行えば、農地の貸し借り、利用集積が進み、農地の有効利用や農作業の効率化が図られる。農家に対して、圃場整備に関する国や県の有効な情報提供を行い、100%達成を目指す思いを持って、圃場整備が進むよう努力したい。





篠原 和代

食物アレルギーを持つ子どもたちの学校給食の現状は

答 弁

観音寺市学校給食食物アレルギー対応マニュアルに基づき、除去を原則として対応している

【質問】保護者へのアンケート、診断書提出などの実施は。

【答弁】毎年、希望調査を実施し、提出された診断書を基に保護者と校長、養護教諭、栄養教諭、学級担任、給食主任などによる個別面談を行い、対応内容を決定して、給食を実施している。

【質問】アナフィラキシーショックへの学校現場での対応については。

【答弁】家庭や学校、教職員間において、情報を共有化し、安全性を確保しているが、今後も研修などを通じて危機意識を持った対応を進めていく必要がある。

就学前児童親子相談事業の概要は

答 弁

市内6カ所の地域子育て支援センターに月1回臨床心理士と保健師を2人1組で派遣し、相談に乗っている。

【質問】相談事業に來られた親子などの現状は。

【答弁】支援センター利用者の約半数から、離乳食やトイレトレーニングなど育児について、言葉や行動など発達についての相談があり、相談内容によっては継続相談・支援を行っている。



立石 隆男

公共施設について

答 弁

総合管理計画に基づく取り組みを進めていく

【質問】公共施設の現状把握と維持管理経費の分析・検討しているのか。また、公共施設のあり方検討会の審議内容、観音寺市公共施設等総合管理計画はどのようなものか。

【答弁】財産台帳などで把握し、維持管理費は過去のデータと比較検討し、適正管理に努めている。公共施設のあり方検討本部では、施設の更新や廃止、長寿命化など、今後の管理運営の在り方の協議をしてきた。観音寺市公共施設等総合管理計画は、将来にわたり公共施設を適切に維持管理、運営をするための基本的な方針である。

行政改革について

答 弁

質の行革にも取り組む

【質問】過去10年間の行政改革の経過や成果と、今後の方針を伺う。

【答弁】第1次、2次の行政改革大綱・集中改革プランにより、職員数の削減や業務の民間委託、指定管理者制度の導入など、経費の削減を図りつつ、歳入の確保改革にも着手してきた。今後は、引き続き「量」の行革に取り組むとともに、職員力の充実に努め、「質」の行革に取り組む。



井上 浩司

立地適正化計画の策定

答 弁

次期「観音寺市都市計画マスタープラン」の策定に向け検討していきたい

【質問】福祉や交通なども含め都市全体の構造を見直し、『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』の視点で、まちづくりを進める必要があると考えるか？

【答弁】昨年度に創設された「立地適正化計画制度」は、都市計画マスタープランの高度化版とされ、本市のコンパクトで持続可能なまちづくりの実現のために、有効な手法の一つと考えている。

国においては、立地適正化計画に係る予算・金融上の支援措置を講じているが、県内では、高松市と丸亀市が計画策定に取り組んでおり、本市も今後検討していきたい。

ダブルケア対策について

答 弁

サポート体制の充実に努めていく

【質問】ダブルケアとは、少子化と高齢化の同時進行が続き、特に女性の晩婚化で出産年齢が高くなり、親の介護と子育てを同時に行うことである。

今後、ダブルケアに対する認知度を深め、早急に対策を講ずるべきだと考えるか？

【答弁】ダブルケアは新たな社会問題であり、今後は実態の把握により調査研究を行い、子育て支援課と高齢介護課が連携のうえ、相談に応えられるようサポート体制の充実に努める。



井下 尊義

入札制度について

答 弁 市内業者の育成を考慮し適切な入札執行をする

【質問】本市においてさまざまな物品購入がなされているが、業者選定についてどのような考えられているのか。また、金額の基準や、入札参加者数などの決まりを設けているのか。また、本市の申請規約の中に市内に営業所がある場合とあるが、本市で生活し、商いを営み、そこで暮らしている方々のことを考えれば、市内業者（市内に本店を有する者）と、できないのか。

【答 弁】本市では、審査資格要綱に基づき審査し登録業者の中から条件を満たしているものを指名業者として決定している。市内、県内、県外の運用区分は、物品の種類や登録業者数などを考慮し選定しているが、提案の内容は、市内業者育成、振興という観点から今後、研究していく。

物品購入はインターネットの普及により営業形態も多様化し、価格も社会情勢などにより日々変動するので、十分考慮しながら適切な入札の執行をしていきたい。



篠原 重寿

「子どもの貧困」解消は政治の役割

答 弁 子どもが夢と希望の持てる社会実現に取り組む

【質問】先進国ワースト4位の貧困率で、子どもたちの6人に1人が、経済面から十分な教育が受けられていない。法律（平成25年）の趣旨をふまえた市の計画を伺う。

【答 弁】現在、各種手当による経済的支援、就学援助などの教育支援、相談業務などを通して支援を行っている。今後、県や関係機関と連携・協力し、法に基づき取り組む。

犬・猫の避妊助成で、野良化減少を

答 弁 制度導入について検討

【質問】全国で30万の犬・猫が殺処分されている。野良化を防ぎ、地域の安全・衛生面保持のため、避妊手術への助成制度創設への考え方を伺う。

【答 弁】殺処分減少策は、県が「譲渡ボランティア制度」を活用、本市も広報紙などにより、愛護動物の終生飼育や遺棄防止を啓発している。今後、助成制度の導入を検討する。



石山 秀和

元氣印の観音寺・地域ブランド創設について

答 弁 平成28年度に認定制度を創設し具体化へ

【質問】地場産業が活性化すれば雇用が増え、人が集い、定住人口が増えることにつながることは間違いない。そのための仕掛け、市の認定制度は絶対に必要である。市の公（おおやけ）で決定すれば、商品開発に自信と誇りが生まれ、販売（売り込み）にも一層の弾みとなるのではないか。市民フォーラム（11月20日開催）の参加者のアンケートからも、大変面白かった、観音寺にもいいものがある。来て良かった、などの意見が多くあった。賛同いただいた意見をぜひ形にしたいと考える。今後の地場産業支援の具休策について伺う。

【答 弁】地域産業の活性化やブランド力強化のため、来年度に市独自の地域ブランド認定制度を創設する。本年度中に認定審査会の規約やメンバーを検討し、来年度に審査会を発足。生産者の意欲や商品力の向上、市の知名度アップを図るのが狙い。

ブランドのネーミングや認定マーク、対象品目、認定基準が決まり次第、認定を行う。認定品については、ふるさと納税の返礼品として優先的に採用する。今後積極的に情報発信し、地域産業の活性化につなげたい。





安藤 康次

いじめ防止対策について

答 弁

「いじめ防止基本方針」を本年度中に策定する

【質問】今年4月制定の「子どもいじめ防止条例」において市の責務として、子どもをいじめから守るために必要な施策を講じなければならぬとあるが、施策について伺う。

【答弁】本年度は、市の「子どもいじめ防止条例」を受けて、いじめ問題対策連絡協議会を2回、作業部会を2回開催している。本会は、幼稚園・小学校・中学校の代表はもちろん、学識経験者、児童相談所、法務局、警察などの関係機関の方にも加わっていた。また、「市のいじめ防止基本方針」策定に向け検討を進めている。また、対策連絡協議会の作業部会では、来年度に向けて、市内で共通のいじめ防止のアンケートを作成することや、いじめ撲滅スロガンの募集と周知によるいじめ防止の啓発を行う方向で検討している。現在、「いじめ防止基本方針」策定に対するパブリックコメントを募集中。本年度中に基本方針を決定する。



伊丹 準二

積極的な出前講座の実施を

答 弁

認知症サポーターを増やしていく

【質問】認知症による徘徊は、現在、ますます増加の傾向。啓発活動として、出前講座を実施しているが、より積極的な出前講座の実施について伺う。

【答弁】認知症サポーター養成の出前講座は各団体、事業所の要請に伴い、開催している。今後は、さらにサポーターを増やせるよう積極的に開催していきたい。

継続性のある課外活動を

答 弁

義務教育の底上げを目標に対処したい

【質問】学校教育において優れた成績を残している活発な課外活動がある。小学校にある課外活動が、中学校にはなく、継続性を求める声、要望があるが、対処は。

【答弁】義務教育の目的は、児童の能力を総合的に伸ばすためにあり、課外授業が目的ではない。課外活動が単一校で人数が原因で成り立っていない場合、複数校合同での試合の参加も実施している。義務教育全般の底上げを目標にしていく現状を理解していただきたい。

地方創生について

答 弁

総合戦略の目標管理をしっかりと進める

【質問】地方創生法に基づき各地でさまざまなプロジェクトが実施され、本市もプレミアム商券の発行、婚活への取り組みなど、積極的に実施されているが、今後の取り組みを伺う。

【答弁】総合戦略をつくるのが目的ではなく、今後の実践に注力していくことが重要。目標管理をしながら、戦略を修正し、取り組みを進めていく。



豊浦 孝幸

鳥獣駆除について

答 弁

カラス捕獲に地元関係者のご協力をお願いする

【質問】市内一帯でカラスによる被害が年々増えている。当局のこれまでの対処や今後の駆除にむけての取り組みを伺う。

【答弁】カラスの捕獲方法は捕獲おりの対応となる。捕獲おりに設置するには置4帖ほどのスペースが必要で、設置場所の確保に地元関係者の協力をお願いすることになる。また、琴弾山がカラスのねぐらとの情報がある。県とも十分協議して対応を検討していきたい。

観光ビジョン策定について

答 弁

平成29年度までの策定を目指す

【質問】国はもとより県も瀬戸内観光圏構想のもと観光推進に力を入れている。策定にむけて現状はどこまで進んでいるのか伺う。

【答弁】「ふるさと財団」の新・地域再生マネージャー事業で通算6回の観光セミナーを開催し、観光交流を通じたまちづくりの学習会を開催。今後の観光ビジョン策定に向けた、体制づくりや動機づけにつなげようとしている。ビジョンは、観光として未来にあるべき姿を示すものであり、観光交流が雇用を生み経済効果をもたらす、地域の一人一人が主役になれる地域主導の観光が求められていると思う。また、来訪者に感動や共感をもたらす、リピートしてもらえるまちを目指していければとも思っている。

策定のスケジュールは、平成29年度までに、市民の皆さまの意見を反映させながら、本市の観光の方向性を示す計画を策定していきたいと考えている。



高橋 照雄

まち・ひと・しごと創
生総合戦略について

答 弁 企業誘致の取り組み、PFIの検討、遊休施設の活用を進めていく

【質問】 地方創生促進のため、企業誘致、PFIの活用、遊休施設の活用などの推進について伺う。

【答弁】 地方創生の実現には、企業誘致や遊休施設などの活用の推進は重要な施策の一つと考えている。企業誘致は、若年層の流出に歯止めをかけるために重要な位置づけとなっていることから、受け入れ体制の充実や雇用の創出について総合戦略に記述しており、今後も重点的に取り組みを進めていく。PFIの活用には、具体的な案件があれば手法の一つとして慎重に検討していく。遊休施設の活用については、「観音寺市公共施設等総合管理計画」に基づき、「観音寺市公共施設のあり方検討本部」で協議を行いながら、転用、統廃合、貸付、売却など効果的な運用に努めていく。



藤田 均

第3子以降の子どもの
保育料の無料化について

答 弁 県が4月から決めれば、市としても第3子以降の保育料減免を検討する

【質問】 本市の就学前の第2子保育料無料は、子ども医療助成と並び重要である。来年4月から県は、第3子以降の保育料についても無料化を計画していると聞かれますか？



【答弁】 県は現制度を拡充し、幼稚園を含めて、所得に応じて第3子以降の3歳以上の保育料の減免を検討中。県が決めれば、市も検討する。

答 弁 増加する業務量に対応できるよう、支援する。
地域包括支援センターの業務量に、マンパワーは追いついているか？

【質問】 業務は、要支援の認定・ケアプラン作成、介護予防の助言、指導・関係機関との調整など業務は多様であるが、人員などの不足はないか？

高齢者相談だけでなく、児童・障害・生活困窮の総合相談窓口を作っては？

【答弁】 同センターは、市社協に委託をし、所長以下、専門職の保健師、社会福祉士、介護支援専門員など17名体制で業務に取り組んでおり、市も今後増加する業務量に対応できるよう支援していく。また、総合相談窓口は、本年4月1日から市社協内に開設している。



友枝 俊陽

観音寺駅南側駐輪場の
整備が必要ではないか

答 弁 駐輪位置の明確化と啓発でマナー向上へ

【質問】 観音寺駅の駐輪場は大正橋プラザに300台近くを止めることができるが駅南側は利用者の割に駐輪スペースが少なく乱雑な状態である。また屋根付きの駐輪スペースは30台程度である。駐輪するスペースと屋根の設置は考えられないか。

【答弁】 駅南アメニティー広場の駐輪場は6年前に駐輪スペースを拡張し環境改善と利便性向上を図った。区画線による駐輪位置を明確化し啓発看板による利用者マナー向上の取組を強化して、適正な管理に努める。屋根の整備は費用面では難しいが、雨天時の利用状況を調査し検討していきたい。

答 弁 他市の状況を見て検討
第3子以降の保育料完全無料化の
検討が必要では

【質問】 来年度から県が第3子の3歳以上の保育料の減免を検討しているが、所得制限が設けられると思う。第2子以降の保育料無料を行っている本市であれば第3子の所得制限該当者についても完全無料化を行うことは可能ではないか。

【答弁】 県において第3子以降の3歳以上の保育料を所得に応じて減免することが検討されている。事業の詳細、また、所得制限などに該当する子どもの数なども分からない。県の事業内容が正式に決定すれば、完全無料化についても他市の状況を見ながら検討していきたい。



五味 伸亮

ファミリープール跡地 活用の手法は？

答 弁

最も有効な手法を検討

【質問】プール跡地活用について、さまざまな提案をいただいている。高室地域でも、自然に則した有効利用に期待を寄せている。現在、事業者、地域住民、有識者と協議を重ね、市に提出する要望書を取りまとめている。

①ファミリープール跡地の活用について、市の現状の考えを伺う。

②市の選択肢としては、売却、貸付、指定管理者制度、市の直接運営、PFIなど、民間資本を導入など、さまざまな方法が考えられる。要望によっては柔軟な対応を提案するが、市の考えを伺う。

③行政発のプール管理棟の活用案が流れていた。地元の声が反映されたものではなく、理解が得られるような内容ではなかった。地元と意見交換を持ちながら進めていただきたいと考えるが、姿勢を伺う。

【答弁】①現在のところ結論は出ていない。

②利活用方針を決定していく中で、その目的を達成するのに最も有効な手法を検討していきたい。

③市として、ある程度案をもって、地元をはじめ市民の皆さまの意見を伺いたいと考えている。

掲載できなかった一般質問

氏 名	質 問 件 名
詫間 茂	<ul style="list-style-type: none"> ● 観音寺市のホームページについて ● タバコが及ぼす社会の影響について ● 高齢者生きがい課について ● 地方版総合戦略について
立石 隆男	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政改革について
井下 尊義	<ul style="list-style-type: none"> ● マイナンバーについて ● 商店街振興について
篠原 重寿	<ul style="list-style-type: none"> ● 財政運営について
石山 秀和	<ul style="list-style-type: none"> ● マイナンバーについて
高橋 照雄	<ul style="list-style-type: none"> ● 財政について

氏 名	質 問 件 名
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合的な子どもの貧困対策と学習支援について ● 介護保険施設入所者の補足給付の削減に対する市の支援について ● マイナンバー制度による介護現場の現状や情報管理などのリスクについて ● 難病対策の拡大・充実について ● 小規模業者に市の仕事を回す制度の新設や職人の育成事業の創設について ● 史跡に指定された大野原（碗貸塚、平塚、角塚）古墳群の活用について
友枝 俊陽	<ul style="list-style-type: none"> ● 入札について
五味 伸亮	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育へタブレット端末導入の提案について ● 中小企業振興基本条例について ● 有明浜の整備について



広聴広報委員会 視察報告

日時 平成 27 年 11 月 9 日(月)～11 月 10 日(火)

場所・事項 神奈川県横須賀市議会 議会報告会について

- 平成 23 年 5 月から実施要項を定め、年 1 回以上、1 回につき 5 カ所を実施。全議員で担当（5 班編成）。
- 議会報告会等準備委員会：各常任委員会の副委員長 4 名と各会派（無会派）代表 8 名。
- 議会報告会后、実施報告書を作成しホームページに掲載する。（回答を保留した質問については調整し掲載する）
- 諸課題等：参加者の伸び悩み、参加者の固定化、議員のモチベーションの維持など。



▲横須賀市

神奈川県川崎市議会

議会広報紙「議会かわさき」

- 年 4 回発行（2・5・9・1 月）新聞形式で 2・9 月は 8 ページ、5・11 月は 4 ページ発行部数は、52 万 4,500 部。配布場所は、各世帯、市内行政施設、鉄道駅、金融機関、コンビニなど。視覚障害者対応として、点字版、録音版も配布した。
- インターネット議会中継（生中継・録画中継）平成 16 年度からパソコン版がスタート、平成 27 年 5 月からスマートホン・タブレット端末対応で生中継が視聴可能になった。
- 議会情報コーナー 区役所や川崎地下街の広報コーナーで議会情報を掲示
- テレビ放映：正副議長新春対談、座談会「予算議会を前に」を放映
- 夏休みこども議場見学会開催
- 市議会広報 DVD「市議会のしくみ」作成
- キッズページ開設（ホームページ）



▲川崎市の議会だより

委員長 石山秀和 **副委員長** 篠原和代

委員 篠原重寿 大平直昭 五味伸亮 藤田 均

文教民生委員会 視察報告

日時 平成 27 年 10 月 30 日(金)

場所・事項 香川県三豊市 たくまシーマックス指定管理者制度導入について

- 旧詫間町が平成 11 年に住民の健康増進を図るため建設した。
- 施設概要 プール、トレーニングルーム、スタジオ、浴室（サウナ含）他
- 利用状況（会員数）平成 25 年度：2,550 人、平成 26 年度：2,539 人
- 平成 25 年 10 月に指定管理者が変わり、新たな条件で運営されている。（委託料ゼロ、大規模修繕積立金として指定管理者が年間 2,500 万円支払う 他）
- 諸課題等 20 年を超える施設であるので、予期せぬ不具合が予想される。利用者の高齢化に対応するため施設整備をどうするか。次年度から施行される、障害者差別解消法に向けた取り組み。

審議結果

高知県高知市 ヨネッツこうち

- 高知市清掃工場のごみ焼却時の熱エネルギーを、温水プールの熱源や冷暖房、照明などの電力に有効利用した施設。市民の健康の保持と生涯にわたるスポーツ活動の振興に寄与し、併せて、ごみ焼却エネルギーの利用システムとエネルギー源となる清掃工場の役割を展示するなど環境に関する情報発信の場を創出している。
- 施設概要 プール、ジャグジー、浴室（サウナ含）、ダンスルーム、トレーニング室 他
- 利用状況 平成 25 年度：135,054 人、平成 26 年度：134,744 人
- 指定管理者委託料 平成 25 年度 6,885 千円、平成 27 年度 9,064 万円
- 諸課題等 開館以来、年間平均 450 万円の赤字となっている中、昨年度施設の改装等による改善策により、今年度は年間 15 万人を超える利用者が予測され、事業収支が黒字に転換されることを期待していた。



▲高知市（ヨネッツこうち）

委員長 友枝俊陽 副委員長 篠原和代
委員 安藤忠明 大平直昭 立石隆男

議案の審議結果 平成27年第5回（12月）定例会

● 全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第86号	専決処分の承認について（和解及び損害賠償の額の決定について）	承認
議案第88号	観音寺市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第91号	観音寺市農業委員会の農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	//
議案第92号	観音寺市公共物管理条例の一部改正について	//
議案第93号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第94号	公平委員会委員の選任について	//
議案第95号	人権擁護委員の候補者の推薦について	//
議案第96号	市道路線の認定及び変更について	原案可決
議案第97号	平成 27 年度観音寺市一般会計補正予算（第 3 号）	//
議案第98号	平成 27 年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	//
議案第99号	平成 27 年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	//
議案第100号	平成 27 年度観音寺市航路事業特別会計補正予算（第 1 号）	//

● 賛否の分かれた議案

議案名等	議 員 名														議決結果							
	豊浦	篠原	友枝	井下	詫間	藤田	五味	篠原	立石	伊丹	安藤	大平	井上	大矢		大賀	秋山	石山	安藤	大久保	高橋	
議案第87号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第89号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第90号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
請願第 2 号	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採扱

※ 議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※ ○…賛成 ●…反対



市民フォーラムの報告 多数のご参加ありがとうございました。

テーマ 我がまちの「美味しいお宝」再発見 みんなの力で全国へ!

日時 平成27年11月20日(金) **場所** 市役所2階会議室 **参加者** 105人

市議会は、この度第5回市民フォーラムを開催致しました。今回は、市内の「食」を掘り起し「お宝」を見つけ出し、広めていこうとの思いで、「萩しーまーと駅長 中澤さかな氏」を招いて講演いただき、市内でも先駆的に地元の素材を磨き上げて商品開発から販売に尽力されている6名の皆さんにご登壇いただきました。

参加者の皆さんから「地元の商品がこんなご苦労をして栽培されたり、もったいない発想から加工商品が作られたりしていることが大変良く分かりました。」「道の駅とよはまも新しい指定管理者となり大いに工夫をこらして集客に努力をされている、ぜひ寄せていただきたい。」「説明いただいた商品はぜひ買いたい。」との意見をいただきました。

代表でご登壇いただいた方々からは、開発して良いものが出来た、しかし、販路に苦労しているとのこと意見や市独自の物産展を開催してはどうか、とのこと意見もいただきました。

講師の中澤さんからは、地域の食の素材の物語性や希少価値であること、ネーミング、デザインの洗練性がブランドの必須要件であり、ブランドとして公（おおやけ）が認め、販売面でも支援することが不可欠であるとのアドバイスをいただきました。



視察に来てくれました

◆平成27年10月30日
埼玉県八潮市
会派 公明党 …… 5名
「本庁舎建設について」

28日	24日	22日	16~18日	14日	11日	10日	8~9日	1日
本会議	全員協議会	予算審査特別委員会	予算審査特別委員会	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議（一般質問）	本会議

**3月定例会
の予定**

新しい年、伸びる申年を迎え、花の便りも届き、春の訪れを感じる季節となりました。
広聴広報委員会は約半分のメンバーが入れ替わり、心機一転！これからも議会だよりをより充実していく所存です。
引き続き市民の皆さまの代弁者として、私たちにできることを考え、活動していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

編集
後記



委員長 伊丹 準二
副委員長 石山 秀和
篠原 重寿
大平 直昭
井下 尊義
五味 伸亮
豊浦 孝幸

広聴広報委員会



この議会だよりは環境にやさしい植物油インキを使用しています。